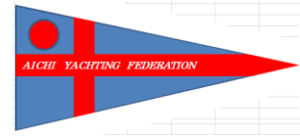


2013年度中部学生ヨット選手権大会 Suspended Event



日程 2013年07月27日(土). 28日(日)
共同主催 中部学生ヨット連盟. 愛知県ヨット連盟
開催地 愛知県蒲郡市海陽町1-7 海陽ヨットハーバー
種目 国際470クラス. 国際スナイプクラス

帆走指示書

1. 規則

- 1-1 本レガッタは「セーリング競技規則 2013-2016」(以下RRS)に定義された規則を適用する。(付則Dを含まない)
- 1-2 RRS付則Pを適用する。
- 1-3 470クラス学連申し合わせ事項. スナイプクラス学連申し合わせ事項. 全日本学生ヨット連盟規約を適用する。
SCIRA規則公認レガッタの運営規則を除き、スナイプクラス国内規則に準ずる。

2. 競技者への通告

- 2-1 競技者への通告は、管理室南西側の公式掲示板に掲示する。

3. 帆走指示書の変更

- 3-1 帆走指示書(以下、指示)の変更は、それが発効する当日の08:30までに掲示する。
但し、07月28日のレース日程の変更は、07月27日の17:30までに掲示する。

4. 陸上で発する信号

- 4-1 陸上で発する信号は、管理室南西側の信号柱に掲揚する。
- 4-2 陸上で回答旗が掲揚された場合、RRS レース信号『回答旗』の中の「1分」を「40分以降」と置き換える。

5. 日程

5-1 レース日程

07月27日(土)	08:30-09:45	受付
	10:00-10:30	スキッパーズミーティング
	11:45	国際470クラス 第2レース予告信号予定時刻
	11:55	国際スナイプクラス 第2レース予告信号予定時刻
07月28日(日)	09:45	国際470クラスその日の最初のレースの予告信号予定時刻
	09:55	国際スナイプクラス その日の最初のレースの予告信号予定時刻

- 5-2 各日の2レース目以降の予告信号は、前のレースが終了次第、適宜発せられる。
- 5-3 1つのレースまたは一連のレースが間もなく始まることを艇に注意を喚起するために、予告信号を発する最低5分以前に、音響1声とともにオレンジ色のスタート・ライン旗を掲揚する。
- 5-4 各クラスとも7レースを予定している。1日のレース数はレース委員会の裁量による。
- 5-5 07月28日は、13:30を越えて予告信号が発せられることはない。

6. クラス旗

- 6-1 国際470クラス 白地に青字で470の形象
- 国際スナイプクラス 白地に赤色でスナイプの形象

7. コース

- 7-1 添付図1の見取り図は、レグ間の概ねの角度、通過するマークの順序、それぞれそのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。
- 7-2 公式掲示板に各々のクラスの当日のコースを提示する。
- 7-3 予告信号以前に、レース委員会の信号艇に最初のレグのおおよそのコンパス方位を掲示する。

8. マーク

- 8-1 マーク1. 2. 3は、数字入りのオレンジ色円筒形ブイ、マーク4は白色一本線を有する赤色円筒形ブイとする。

- 8-2 指示10に規定する新しいマークは、数字入りの黄色円筒形ブイとする。
- 8-3 スタート・マークは、スターボードの端にあるレース委員会信号艇と、ポートの端にある黄色円筒形ブイ、フィニッシュ・マークはスターボードの端にあるレース委員会艇とポートの端にある球形ブイとする。

9. スタート

- 9-1 レースは、RRS26を用いて、予告信号をスタート信号の5分前としてスタートさせる。
- 9-2 スタート・ラインは、スターボードの端にあるスタート・マーク上にオレンジ色のスタート・ライン旗を掲揚しているポールと、ポートの端のスタート・マークの間とする。
- 9-3 予告信号が発せられていない艇は、他のレースのスタート手順の間、スタート・エリアを回避しなければならない。
- 9-4 スタート信号後4分より後にスタートする艇は、審問なしに『スタートしなかった』と記録される。これはRRS A4を変更している。

10. コースの次のレグの変更

- 10-1 コースの次のレグを変更を変更するために、レース委員会は、新しいマークを設置し(またはフィニッシュ・ラインを移動し)、実行できれば直ぐに元のマークを除去する。その後の変更で新しいマークを置き換える場合、そのマークは元のマークで置き換える。

11. スタート後の短縮または中止

- 11-1 レース委員会は、RRS32.1以外に、レースの公正に影響を及ぼすような大幅な風向の変化、レースを続行することが困難な風速の低下、または先頭艇が60分以内にフィニッシュ出来ないと判断した場合、コースを短縮またはレースを中止することがある。
- 11-2 指示11-1に基づいたレース委員会の措置について、艇からの救済の根拠とはならない。これはRRS62.1を変更している

12. フィニッシュ

- 12-1 フィニッシュ・ラインは、スターボードの端にあるフィニッシュ・マーク上にオレンジ旗を掲揚しているポールと、ポートの端のフィニッシュ・マークの間とする。

13. タイムリミット

- 13-1 先頭艇がコースを帆走してフィニッシュした後、10分以内にフィニッシュしない艇は、審問なしに『フィニッシュしなかった』と記録される。これはRRS35、A4、A5を変更している。

14. 抗議と救済要求

- 14-1 抗議書は、管理室にあるレース・オフィスで入手できる。抗議および救済または審問再開の要求は、適切な締切時間内にレース・オフィスに提出されなければならない。
- 14-2 それぞれのクラスに対して、抗議締切時間は、その日の最終レースに最終艇がフィニッシュした後、またはレース委員会が本日これ以上レースを行わないという信号を発した後、どちらか遅い方から60分とする。
- 14-3 審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている競技者に、審問のことを知らせるため、抗議締切時刻後20分以内に通告を掲示する。
審問は管理室横にある談話室にて、おおむね受付順に始められる。
- 14-4 レース委員会またはプロテスト委員会による抗議の通告を、RRS 61.1(b)に基づき伝えるために掲示する。
- 14-5 RRS 42違反に対するペナルティーを課せられた艇のリストは、掲示される。
- 14-6 クラス規則、指示9-3、16-1、16-2、16-3、17及び18の違反は、艇による抗議の根拠とはならない。これはRRS 60.1(a)を変更している。
これらの違反に対するペナルティーは、プロテスト委員会が決めた場合、失格より軽減することができる。
- 14-7 レースを行う最終日では、審問再開の要求は、次の時間内に提出されなければならない。
 - (a) 要求する当事者が前日に判決を通告された場合には、抗議締切時間内。
 - (b) 要求する当事者がその当日に判決を通告された後30分以内。これは、RRS 66を変更している。
- 14-8 レースを行う最終日では、プロテスト委員会の判決に基づく救済要求は、判決の掲示から30分以内に提出されなければならない。これは、RRS 62.2を変更している。

15. 得点

- 15-1 本レガッタが成立するには、07月08日実施の1レースを含め、2レースを完了させることを必要とする。
- 15-2 5レース以下しか完了しなかった場合、艇のシリーズの得点は、レース得点の合計とする。
6レース以上完了した場合、最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。
- 15-3 本レガッタの参加艇数は、各クラスとも07月07日、08日の、「2013年度中部学生ヨット個人選手権大会」の参加艇数とする。

16. 安全

- 16-1 出艇する競技者はその都度、レース・オフィス前に用意される出艇申告書に署名しなければならない。
- 16-2 帰着した競技者はその都度、レース・オフィス前に用意される帰着申告書に署名しなければならない。
その日のレース後の帰着申告締切時間は、抗議締切時間である。
- 16-3 レースからリタイヤする艇は、出来るだけ早くレース委員会に伝えなければならない。
- 16-4 レース委員会、プロテスト委員会は、競技者や艇が危険な状態であると判断した場合、救助及び必要な処置を行う場合がある。これにより救助及び処置されたことは、艇による救済の要求の根拠とならない。
これは、RRS 62.1(a)を変更している。
- 16-5 国際スナイプクラスは、1.5Kg以上のアンカーと直径8mm以上、長さ10m以上のアンカーロープを、何時でも使用できる状態で搭載しなければならない。

17. 装備の交換と乗員の変更

- 17-1 損傷又は紛失した装備の交換は、レース委員会の承認なしでは認められない。
交換の要請は、最初の妥当な機会にレース委員会に対して行わなければならない。
- 17-2 1チームは最大3名までとし、ヘルムスマンの変更は認められない。
クルーの交代要請は、最初の妥当な機会にレース委員会に対して行わなければならない。

18. 装備と計測のチェック

- 18-1 艇又は装備は、規則に従っていることを確認するため、いつでも検査されることがある。

19. 賞

- 19-1 各クラスとも、1位から3位に賞を与える。

20. 責任の否認

- 20-1 このシリーズの競技者は自分自身の責任で参加する。
シリーズの主催団体は、シリーズの前後、期間中に生じた物理的な損害又は身体障害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

21. その他

- 21-1 ゴミはレース委員会艇に渡すことができる。
- 22-2 シリーズ期間中の競技者の肖像権は主催団体に帰属する。
シリーズ期間中の映像、写真及びシリーズの成績は、主催団体のHPにアップされる場合がある。
- 22-3 本大会は海陽セーリングカップとの併催とする。
同一レース海面にて、『海陽セーリングカップ』セーリングスピリッツ級、シーホッパー級スモールリグ『2013年度中部学生ヨット個人選手権大会 Suspended Event』国際470クラス、国際スナイプクラスの4艇種のレースが行われる。
- 22-4 Suspended Eventと2013年度中部学生ヨット個人選手権大会との統一性について疑義が生じた場合共同主催団体の責任と権限において処理する。
この統一性の疑義の処理について、艇による救済の根拠とはならない。
これは、RRS 62.1(a)を変更している。

